

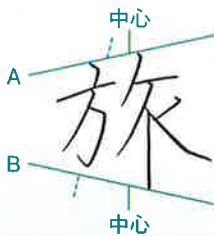
おとな字 トレーニング

講師
小高桃果さん



秋吉台

① ワンポイントアドバイス



漢字のヘンとツクリは、お互いの領域を守りながら全体として調和していることが大切です。「旅」をよく見ると、右側のツクリが未広がりなので、ヘンをちょっと斜めにして、ツクリに少しだけ場所を譲りましょう。また、A/B線を目安に広がりのある「旅」になるようにしましょう。譲り合い伸び伸びと、人間の社会もこうなれば最高ですね。

小高 桃果 (おだか・とうか)

硬筆書道の先駆者である三上秋果の下で長年にわたり研さん。2006年、日本ペン習字研究会理事。2013年「4週間て美しく書ける！ボールペンおとな字練習帳」(日本文芸社)を上梓。著作多数。よみうりカルチャー大森講師。

ゆっくり丁寧に、メリハリのある美しい線を心がけましょう。

(テーマ)

歴史とロマンの旅

なぞって書いてみましょう。

歴史とロマンの旅

長州・山口県は歴史のロマンを彷彿とさせる場所。草が青く茂る秋吉台(美祢市)に立つと、一層その思いを強くします。カルストと呼ばれるこの大地の下にある秋芳洞(あきとうどう)を歩き、「地の底」から、草原へ。太古からの光と風を、体感じます。地球が営々と作り出した造形に、未来の自分を思う旅になることでしょう。